

事務事業名	いちごPR事業				担当	産業部 農政課 農業振興係					
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～				☐ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）				
施策名	1	農業の振興				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）				
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ					
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					☒ 毎年度実施（開始年度 平成18 年度～）					
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1	4		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）					
予算科目											
予算科目											
事業概要	【いちごまつり】 「いちご生産量日本一」という生産資源を生かし、本市の知名度アップとブランド力向上を目的とし、農・商・工業者が一体となり、平成18年度からいちごまつりを実施している。 事業主体 いちごまつり実行委員会 会場 二宮コミュニティセンター（平成28年度～） 内容 いちご狩り 1,500名募集 参加費 大人2,000円（中学生以上） 子ども1,000円（3歳以上小学生以下） 幼児無料（3歳未満） 各種模擬店及び交流イベント その他PR事業 ・いちごシーズンにおけるいちご販売PR ・いちごプロモーションへの協力 ・真岡グリーンツーリズムと連携したプロモーション活動の取組 等										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
6年度実績 ・補助金交付事務 いちごまつり実行委員会事務局。70周年冠事業として、16回目のいちごまつりを5月19日（日）に開催。道の駅にのみや及びあく里っ娘でも関連イベントを同時開催（コラボ）し、いちごフェスタとして開催。 いちご狩り申込人数：2,792人 ・70周年記念事業として、3月に開催した「ストロベリーワールドドインもおか」への協力。 ・その他PR事業 県共催事業として関西圏における「いちご王国・栃木」展示商談会出展。 東武東上線での観光PRイベントや東京スカイツリー栃木県アンテナショップでのいちご販売PR、真岡ハイランド運動公園市民球場開場記念イベントにおけるいちご販売PR等。 ※ いちごPRの実施 総務広報課シェイププロモーション係と連携したPR、真岡グリーンツーリズム協議会によるプロモーション活動の推進、商工観光課と連携したいちご販売PR、県と連携したいちご広域などへの支援等、前年度や関西圏へのいちごの販売促進PR。				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
				ア	いちごまつり補助金額	千円	1,680	1,680	1,680	2,000	2,000
				イ	実行委員会予算額	千円	1,500	169	1,680	4,428	5,283
				ウ	その他PR事業費	千円	15,000	26	24	113	26
				エ							
				オ							
				② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移			
観光客数、井頭観光いちご園入園者数、いちごまつり申込数				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
				ア	観光客数	万人	158	195	256	237	265
				イ	井頭観光いちご園入園者数	人	13,661	17,107	18,040	16,118	18,000
				ウ	いちごまつり（いちご狩り）申込数	人	0	0	1,429	2,792	2,800
				エ							
				オ							
				③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移			
様々なPR事業を実施しながら、いちごのブランド力向上と、「いちごのまち」としてのイメージ定着を図る。				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
				ア	いちごまつり参加人数(推計)	人	0	0	15,000	15,000	15,000
				イ	いちごのまちとイメージする市民割合	%	59.1	58.1	59.8	75.3	78.0
				ウ	いちごまつり代替事業参加者	人	2,322	137	0	0	0
				エ							
				オ							
				⑦ 総事業費の推移				単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	15,000	69	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	840	1,000	1,000		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	840	1,000	1,000		
			一般財源	千円	1,500	70	24	113	26		
	事業費計（A）			千円	16,500	139	1,704	2,113	2,026		

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) いちごまつりについては、県内外から多くの来場者があり、農村と都市との交流促進が図られるとともに、「いちご王国栃木の首都もおか」としてのイメージアップにつながることから、市の施策に結び付いている。その他のPR事業についても、本市の地域資源であるいちごを活用したPRであり、市の施策に結び付いている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) いちごまつりについて、日本一のいちご産地である二宮地区での開催により、農村と都市との交流の促進が図られるとともに、「いちご王国栃木の首都もおか」としてのイメージアップにつながる重要な事業であり、公共関与は妥当である。その他のPRについて、「いちご王国栃木の首都もおか」のPRにつながることから、公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 県内外から多くの来場者があり、農村と都市との交流の促進が図られるとともに、「いちご王国栃木の首都もおか」としてのイメージアップにつながることから、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) いちごまつりのほか、関係機関と連携したいちごに関するPR事業を引き続き実施する必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名： ） ☐ 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名： ） ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 過去の事業実績を踏まえた事業を計画しており、事業費の削減余地はない。本市の補助についても事業を実施するにあたり、最小限の補助である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☐ ：有効性 ☐ ：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性																						

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																					